

【参考資料 1】

1. 鋭角部過剰浸炭組織 比較写真

浸炭方法		ガス浸炭	真空浸炭	
鋼種		SCr420	SCr420	DEG鋼
端部 角度	180度 (平面)			
	60度	粒界酸化 	過剰浸炭 = 炭化物析出 	

粒界酸化、過剰浸炭組織とも強度低下の原因となります。

50 μm

2. 疲労強度

